

平成22年度第1回福岡県がん診療連携協議会議事録

日 時	平成22年6月14日（月） 14時00分～16時00分
場 所	九州がんセンター会議室
出席者 42名	別紙出席者名簿のとおり
九州がんセンター（院長）	<p>1) 開会の挨拶 今回より福岡県指定の3病院にも入っていただき、新しいメンバーにて平成22年度から福岡県がん診療連携協議会を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。 ただ今より平成22年度第1回福岡県がん診療連携協議会を開会いたします。それでは議事次第にそって進めていきたいと思っております。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>2) 各がん診療連携拠点病院・関係機関代表者自己紹介 施設名、職名、氏名等にて各代表者の自己紹介。</p> <p>3) 各専門部会の現状報告 ①地域連携・情報専門部会 (1) 報告事項 ≪地域連携パスの進捗報告≫ 概要についてはスライド（別紙）にて説明。 福岡県がん診療連携協議会（がん診療連携拠点病院）と福岡県がん診療連携運営委員会（福岡県医師会）が、意見交換をしながら地域連携パスを作っていくと進み始めたのが約2年前でした。WGで地域連携パスを作りながら、途中で医師会の先生方にも加わっていただき、福岡県で統一のパスを作るという方向性を認識していただき、作業を進めながら今に至っています。最終的には福岡県がん対策推進協議会に承認をいただき、パスの運用を開始することになります。実際には5月25日に福岡県がん対策推進協議会を開催していただき、「胃がん・大腸がんステージⅠ術後フォローアップパス」については承認をいただきました。地域連携パスの「たたき台」につきましては、福岡県がん診療連携協議会の地域連携パスWGで作成し、医師会の先生方も入っていただいた連携パス調整会議にて「最終案」を作成します。それを福岡県がん診療連携運営委員会に上げた後、最終的に福岡県がん対策推進協議会に上げて承認をいただき、協議会として通達してもらい、各郡市医師会を通して各拠点病院で運用していくこととなります。 「胃がん・大腸がんステージⅠ術後フォローアップパス」につきましては先行しておりまして、5月25日に承認をいただいて運用に向かっていきます。パスといっても、「共同診療計画書」だけではなく「私のカルテ」等を含めて承認いただいております。「患者さんへの説明用パンフレット」につきましては、相談支援センター連絡会議でデータを配っていますので活用していただければと思います。「医療者への説明用パンフレット」はまだ配っていませんが、作成はしていますので活用していただければと思います。一部だけ示しております「同意書」ですが、同意書のみ抜き出したファイルも配りたいと思っておりますので、各医師に患者に十分説明をして使ってもらうようお願いいたします。</p> <p>(2) 審議事項 ≪今後の方針について≫ 概要についてはスライド（別紙）にて説明。</p>

	<p>早く運用を開始したいところですが、この協議会で報告をした後、6月29日にkick-off meetingを開きたいと予定しています。下記について話をしたいと思っています。</p> <p>① 「私のカルテ」などの最終バージョン説明（CD-R配布） ② 運用の方法についての説明・コンセンサス形成 ③ 連携先リストや九州厚生局への申請について ④ 相談支援センターの関与の必要性について ⑤ 他がんパスの進捗報告 ⑥ パス作成に関わる今後の費用の共同出費について</p> <p>運用に関する大枠のコンセンサスの形成を専門部会で議論して、基本的運用マニュアル、基本的データシートを作成していますので、専門部会で提示したいと思っています。一つのかかりつけ医の先生が、いくつもの拠点病院、中核病院と連携をされている現状がありますので、各拠点病院で説明していただくしかないと思っています。県全体の講演会等を行う必要もありますし、各医師会での説明も必要だと思います。今からが専門部会メンバーの拠点病院としての作業が始まると思っただけであれば良いと思います。最終的には患者さんの声を聞かないといけなないので、アンケートを実施して情報を収集しフィードバックしていきたいと思っています。県の方で市民公開講座を開いていただけるということですので、市民のみなさんにお知らせしたいと思っています。</p> <p>パスは始まったばかりで、あくまで今後の啓発のための題材としての位置づけとして見ておく必要があると思いますので、みなさま方のご協力をお願いしたいと思っています。</p>
九州大学病院 （水元）	6月29日のkick-off meetingをもって開始と考えてよろしいでしょうか。
九州がんセンター（藤）	開始で良いと思いますが、点数を取るためには連携リストを厚生局へ提出しないといけないので、リストがいつできるかは分からないので先になると思いますが、各病院で始めることは点数を取ることとは違うのでスタートして良いと思います。
九州大学病院 （水元）	厚労省に届け出の関係で、DPCの係数が変わってくるので、リストを待たずして現状の連携病院で届け出を行って実施病院として良いものか。
九州がんセンター（藤）	連携リストが出来てきたら届け出直しということになると思います。やっではないということはないと思います。
福岡県（掛川）	医師会の方と連携しながらやっていますが、まだ完全に出来上がったとは聞いていません。
福岡県医師会 （山岡）	医師会執行部の異動がありまして、まだ委員会の推薦が上がってきていなくて、少し遅れています。
九州大学病院 （水元）	リストが出来るまでは届け出はしない方が良いということですか。それとも現在の連携している病院だけでも届け出はしても良いですか。
福岡県医師会 （山岡）	拠点病院として、現在の連携している病院だけで届け出されるのは構わないと思います。
九州大学病院 （水元）	6月29日に出席するのは、パスを作成する医師なのか、連携コーディネーターなのか、どなたに出席してもらえば良いですか。
九州がんセンター（藤）	案内に書きましたが、できれば両方に出席していただきたい。連携の責任者、胃・大腸の担当の方、相談支援センターの方、できれば他のがんの担当の方にも出席していただきたいと思っています。
九州大学病院 （水元）	医師を集めるには14時というのは厳しい時間帯で、できれば遅い時間帯にいただければと思います。

九州がんセンター（藤）	以前も話がありましたが、公務ということで勤務時間内に行くことを基本に14時で予定しています。遠くから来られる方もおられますし、みなさんがもう少し遅くでも良いということであれば14時という取り決めは別にありません。
九州大学病院（水元）	パスを担当している医師は、管理職というよりは現場で診療を行っている医師が多いので、診療を止めてまでは参加しにくいという要望が強くなりました。
九州がんセンター（藤）	29日は変更できませんが、時間は16時とかに変更することは可能です。担当者ではないので分からないかもしれませんが、いかがでしょうか。
福岡大学病院（田村）	基本的には遅い方が良いのではないのでしょうか。事務の方がどうかというのはありますが。
九州大学病院（水元）	「私のカルテ」は統一版ということですが、「パンフレット」、「チラシ」も同じものでなければいけないのでしょうか。
九州がんセンター（藤）	それは決まりではありません。ご利用下さいということで渡しているだけです。
九州大学病院（水元）	開業医とか患者さんへの説明会を自施設でしようかと思っておりますが、医師会の方は説明会を予定されていますか。
福岡県医師会（山岡）	まだそこまでいっていない現状です。
九州大学病院（水元）	早く説明会をしないと動きませんので、医師会の方に九大で説明会をしますというご案内をお願いしますということでしょうか。
福岡県医師会（山岡）	それは構いません。
九州がんセンター（藤）	今の水元先生の話は、各拠点病院もしくは各ブロックの代表となる病院の方にやってもらわなければいけないと思います。それも本当は複数回。できれば各拠点病院で医師会の先生とコンタクトを取って説明会をやっていただけると良いのですが。
九州大学病院（水元）	先週の医療マネジメント学会で、この辺の話もシンポジウムで出ていたが、なかなかどこも進んでいないようです。患者さんに何のメリットがあるかの説明がつかなくて同意をもらえないということでした。医師会や患者さんへの説明をしっかりとやらないと、実際には運用できないようです。
福岡大学病院（田村）	連携リストの届け出については、随時追加や削除を受け付けてもらえるのでしょうか。それとも年1回とか半年1回しかできないのでしょうか。
福岡県医師会（山岡）	たしか九州厚生局への加算の届け出は、毎月提出すれば良いということだったと思います。
福岡大学病院（田村）	もし随時で良いのであれば、拠点病院毎に届け出を行っても良いのではないのでしょうか。
久留米大学病院（山名）	PDFのファイルについては、配布するのは大変だと思うので、県とか医師会とかのホームページからダウンロードできるようにしたら良いと思います。
九州がんセンター（藤）	県の医師会や各拠点病院のどこからのホームページからもダウンロードできるようにしたいと思います。とりあえずPDFで配布しますので、書き込みはできませんので病院名等、変更するところはテプラ等で張り替えて使って下さい。
九州がんセンター（一瀬）	以前、がん対策推進協議会でパブリックコメントの話がありましたが、ホームページで得ることはできるのでしょうか。

九州がんセンター（藤）	パブリックコメントは県にお願いしたい。病院で収集するのは難しいので、やるやらないの結論を含めて県で検討して下さい。以前、今のところはできないので、市民公開講座を開くという話だったと思います。
産業医科大学病院（塚田）	先ほどの話にもありましたが、他の県でもあまり使われていないということでしたので、事前に運用に関する問題点を収集するとか、使ってみてのデータを出して改善していくべきだと思います。
九州がんセンター（藤）	データは集めていきたいと思います。
九州がんセンター（西山）	<p>②がん登録専門部会</p> <p>5月31日に「がん登録専門部会」を行いました。がん登録専門部会は以前より二つのことをメインに部会を進めています。一つは「登録データ分析評価について」で、各拠点病院より院内がん登録データを国立がんセンターに送っていただいて、その返ってきたデータの分析評価をどうするかということ。もう一つは「予後調査について」で、この二つを中心にお話しいたします。</p>
	<p>(1) 登録データ分析評価について</p> <p>概要については別紙にて説明。</p> <p>《ブロック別5大癌登録状況（拠点病院）》</p> <p>4ブロック（福岡、北九州、筑後、筑豊、福岡県合計）における肺癌、胃癌、大腸癌、肝癌、乳癌の登録状況についてまとめています。例えば筑後ブロックでは肝癌が多いとか、それなりの傾向が出ているものと思います。</p> <p>《ブロック別5大癌登録状況（非拠点病院含む）》</p> <p>傾向としては、拠点病院のみとあまり変わりはありません。</p> <p>（非拠点病院のリストは別紙参照）</p> <p>《各病院別の院内がん登録統計資料解析データ》</p> <p>今回データが間に合わなかった福岡大学病院、九州医療センター及び医師会、薬剤師会、看護協会、放射線技師会、福岡県、九州中央病院、戸畑共立病院、浜の町病院にはイメージとして九州がんセンターのデータを配布しています。一枚目が「来院経路別集計表」、二枚目が「発見経緯別集計表」、三枚目が「ステージ別登録件数集計表」を添付しています。とりあえず第1回目として、このようなデータを作成いたしました。</p> <p>(2) 予後調査について</p> <p>現在のがん登録の状況は次のとおりとなっています。</p> <p>2007年がん登録 → 2009年に提出済み</p> <p>2008年がん登録 → 2010年に提出済み</p> <p>2007年がん登録症例3年後予後調査 → 2011年末に提出予定</p> <p>がん登録専門部会としましては、なるべく今年中に同意書無しで各市町村からの予後調査ができるように体制を整えたいと考えています。現在、県の方より各市町村に同意書無しで予後調査ができるように協力依頼文書を発送していただいているはずです。</p> <p>(3) がん登録専門部会結果報告書</p> <p>① 院内がん登録データの福岡県がん診療連携協議会内での公開に関しては、反対意見が無く、がん登録専門部会としては各施設のデータ公表を希望する。</p> <p>② がん登録専門部会としては、福岡県に対して地域がん登録の再開を強く希望する。</p> <p>③ 福岡県は予後調査に関し、「福岡県の院内がん登録事業は地域がん登録事業に準ずるものである」という認識で、各市町村に住民票照会を求めていくことを希望する。</p>
久留米大学病院（山名） 九州がんセンター（院長）	<p>国の方も公開に向かっているので、問題ないと思います。</p> <p>登録の精度の問題があり、「不明」等が多すぎて精度が良くないということで公開にストップがかかりました。精度が良くなれば公開することは問題ないかと思っています。</p>

九州がんセンター（西山）	各病院せつかく苦勞してデータを提出していただいているので、より良いフィードバックをしたいと思っておりますので、何かこういうデータが欲しい、という意見がありましたら後でも結構ですでお知らせ下さい。
九州大学病院（水元）	公開にあたって登録数の問題があつて、病院によっては外来のがん患者の登録を行っていないところがあつて、他の病院と比較するとがん患者数が少なく見えるという問題がある。外来の登録までやるのが本来の姿だと思います。
九州医療センター（村中）	精度の問題とかあると思いますが、それを検討してからではなく、とりあえず公開してみると様々な問題が見えてくると思っておりますので、まず公開してみたら良いと思います。
福岡県（掛川）	予後調査につきましては、現在市町村の方への通知の準備をしております、まだ通知には至っておりませんので、もうしばらくお待ちいただきますようお願いいたします。できるだけ早く出させていただきます、難しい市町村については個別に対応して、ご理解いただきたいと考えています。
九州大学病院（水元）	<p>③研修・教育専門部会</p> <p>(1) 九州大学病院研修会の開催予定 概要については別紙資料1にて説明。 22年度の研修会の予定を一覧にしています。 ・九州大学病院がんセミナーを年5回 1回につき3演題、インターネット研修（動画配信） ・福岡県コメディカルがん医療研修会を年3回 10月～12月、コメディカルを中心に参加人数は1回につき約200名 ・福岡県院内がん登録研修会を年4回 福岡だけではなく九州全体からの参加 ・福岡県がん診療連携協議会MSW研修会を年3回 MSWだけを集めた研修 ・がん看護に関わる看護師の育成研修 看護師の7月20日より40日間にわたる研修 《患者対象研修会》 ・市民公開講座 ・膝がん勉強会（別紙資料） ・九州大学病院がんセンタークローバー会（別紙資料）</p> <p>(2) 医師に対する緩和ケア研修会について 概要については別紙資料2にて説明。 医師に対する緩和ケア研修会について、今後どうするかということで、検討会や書面会議を行いました。全国的に医師に対する緩和ケア研修会を今までの一般型から単位型にして欲しいという要望がありました。福岡県医師会の方からも単位型に移行して欲しいという要望があります。まず具体的な対策ができるかということで、会議を行う前に各ブロックの代表を含め6施設で集まり検討いたしました。一般型研修会と単位型研修会の大きな違いとしては、単位型は県の対応が明確になっていないといけません。県としては、「緩和ケア研修会参加者名簿作成、単位管理、修了証発行・交付」を行っていただく必要があります。福岡県としての統一のプログラムを作成し厚労省に届け出てもらい、最終的に福岡県に修了証が渡されて、研修者に配布することになります。 《県の役割》 ・単位管理 ・指導者研修修了者の把握 ・研修内容確認 ・研修の周知 ・研修修了者の管理 ・終了証書発行 ・県主催の緩和ケア研修会の実施 等</p>

	<p>福岡県から開催までの準備、修了証の発行についてご提案をいただきました。(別紙資料)</p> <p>これを踏まえ委員会で単位型にするメリット、デメリット、問題点が検討、議論されました。</p> <p>《同意事項》</p> <p>① 平成22年11月より平成23年10月までの福岡県緩和ケア研修会は一般型で実施する。</p> <p>② 上記期間の緩和ケア研修会は、今後の単位型での研修会実施を念頭に、研修プログラムを統一して実施することを検討する。</p> <p>《理由》</p> <p>平成22年8月までに、県全体としての実施体制の構築、県内統一研修会プログラムの決定、全施設の研修会開催日の決定には時間が十分ではない。</p>
福岡県医師会 (山岡)	<p>単位型につきましては、是非お願いしたいと思います。福岡県がん対策推進協議会で福岡県として取り組むという話がありました。医師会の認定産業医の研修会も単位型で行っています。日本医師会の生涯教育制度も単位型で行っています。医師会としては、そういう対応はできます。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>医師に対する緩和ケア研修会は、通常の研修会とは相当違う会として、2日間で12時間以上に及ぶ長い研修であり、準備も非常に手間がかかって、単位管理の方法などが県からいただいている提案では実施しかねるとというのが、みなさんの意見です。今後それに向けての準備はさせていただきたいと思います。</p>
福岡県医師会 (山岡)	<p>是非その体制を組んでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
福岡大学病院 (田村)	<p>各拠点病院でもいろいろ実施されているが、個々の把握と現状と問題点は、この部会で取り上げていく必要があると思います。</p>
九州医療センター (村中)	<p>一つ提案ですが、各施設で行う研修会と拠点病院として行う研修会がありますが、その中で看護師の養成の講座と看護協会が行っている認定看護師、専門看護師の研修会はリンクするような働きかけをハードルは高いと思いますがお願いしたい。もう一つは、がん患者さんの団体との関わりを施設毎ではなく、拠点病院全体での関わりができるように音頭をとっていただけるとありがたいなと思います。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>看護師の研修は、もともと拠点病院とは別件で福岡県の事業として教育のプログラムがあって、認定看護師の件とは別途だと思っています。</p>
福岡県(森松)	<p>県の医療指導課の看護師育成事業の一つとして予算を取りましてお願いしている事業です。今のところは認定看護師の単位とまったく関係が無いというのは、モチベーションが上がらないことや病院の負担を考えると、是非単位の一部として検討して欲しいということを、国に申し上げているところです。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>拠点病院全体として患者団体と関わりを持つという話については、現状ではなかなか難しい状況だと思います。</p>
九州医療センター (村中)	<p>二つとも難しいのは承知の上なのですが、時間をかけてでも何とかしていただけるとありがたいなと思っています。</p>
九州がんセンター (西山)	<p>4) 地域がん登録について</p> <p>がん登録専門部会では院内がん登録を進めていますが、予後調査の件等につきましては、院内がん登録では限界を感じています。是非県には大変だとは思いますが、地域がん登録を復活して欲しいという要望をあげています。春から地域がん登録していると点数が取れるようになっていきますし、佐賀県との関わりがあります久留米大学や聖マリア病院は歯痒い思いをしておられるみたいなので、協議会としても是非地域がん登録を進めていただきますよう決議していただきたいと思います。</p>

九州がんセンター（院長）	<p>思います。</p> <p>この件に関しては、みなさん異論は無いと思いますが、県の方は前向きに考えているというご意向があるようなので、要望文書を作成していましたが今回は出していません。東京都が来年度から開始するということですし、一旦止めた兵庫県も既に動きましたので、福岡県も動かないわけにはいかないと思います。国立がんセンターが国立がん研究センターに独法化しまして、がん登録に関して非常に力を入れようとしています。これにより少し変わってくる可能性があります。福岡県指定の3病院のがん登録の精度管理につきましては、決定ではありませんが中央の方でもらえるように準備してもらっています。</p>
九州大学病院（水元）	<p>全国地域がん登録協議会が年1回あります。そこで必ず福岡県はなぜ地域がん登録をやらないのか話題にあがります。今度、係数になった時の福岡県全体の損失は数億～数十億になるだろうということでした。</p>
九州医療センター（村中）	<p>最初から言っていることだが、何が原因でできないのかを言ってもらって、みなさんと協議しないと進まないと思います。</p>
田川病院（田中）	<p>次回までに返事をもらうということにしないと、ずっとこのまま続いて行くと思います。</p>
福岡県（掛川）	<p>次回までという約束はできませんが、前向きに検討していきます。</p>
福岡県（掛川）	<p>5) その他 ①連絡事項 《がん診療連携拠点病院及び県指定診療拠点病院の現況報告書について》 毎年9月を目処に提出していただいているところですが、厚労省に確認したところ現況報告書の書式に変更は無いとのことなので、提出期限を9月9日位に予定したいと考えています。変更等がありましたら連絡したいと思っています。県指定の病院につきましては、厚労省への提出はありませんが、同書式で県に提出していただきたいと思います。 《がん対策推進計画を推進するための都道府県の主な取組（アクションプラン）について》 毎年10月末を目処に報告しているところですが、本年度も7月位に各拠点病院の取組について照会をさせていただきたいと思っています。 ご協力よろしくお願いたします。 《福岡県在宅医療推進事業について》 概要については別紙資料により医療指導課森松が説明。</p>
九州がんセンター（一瀬）	<p>②平成22年度第2回福岡県がん診療連携協議会開催予定（案） 第2回 平成22年10月18日（月） 飯塚病院 第3回 平成23年 2月14日（月） 九州医療センター よろしくお願いたします。</p>
	<p>6) 閉会の挨拶 これをもちまして平成22年度第1回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。</p>

